

授業科目

看護学概論

担当教員名 佐藤 信枝	対象学年	3	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	○

授業の概要

チーム医療内で看護の機能と役割を理解する。

授業の目的

1. コミュニケーションの技法を理解できる。
2. 医療現場における感染予防対策ができる。
3. 医療者としての倫理を理解できる。
4. 人の発達段階の特徴と、発達段階に沿った看護を理解できる。
5. 医療機器を装着している患者の倫理を理解し、看護の特徴を知る。

学習目標

1. 人間と看護、医療におけるコミュニケーション技法を説明できる。
2. 医療に関する感染予防の知識を理解し、予防対策の方法を具体的に説明できる。
3. 医療者の倫理を説明できる。
4. 発達段階に沿った看護の特徴を比較し説明できる。
5. 医療機器を装着している患者の看護の特徴を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人間の理解、人と人との相互関係	講義	佐藤 信枝
2	入院している患者の心理、感染予防に関する基礎知識（次回の演習に向けて）	講義	佐藤 信枝
3	手指消毒の方法（衛生的手洗いの実施）	演習	佐藤 信枝 他
4	看護の倫理	講義	塚本 康子
5	母性・新生児の看護	講義	中山 和美
6	小児期の看護	講義	松井 由美子
7	成人期の看護	講義	目黒 優子
8	高齢者の看護	講義	高橋 智美
9	精神疾患患者の看護	講義	西川 薫
10	地域で生活する対象者の看護（健康教育等、保健師の立場からの看護）	講義	杉本 洋
11	課題レポート1	自己学習	佐藤 信枝
12	がん患者の看護	講義	北島 真樹
13	がん患者の看護	講義	北島 真樹
14	周術期患者の看護	講義	金子 佳世
15	まとめ、課題学習2	講義・課題レポート作成	目黒 優子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	教員作成の資料					

評価方法

- ・課題学習1：50%

- ・課題学習2：50%
- ・講義や演習の態度により減点する場合がある。

履修上の留意点

- ・出席は自己管理

オフィスアワー・連絡先

初回に連絡します。